平成２０年３月期　第３四半期財務・業績の概況

平成20年 2月 8日

上場会社名	株式会社 **な と り**	上場取引所	東証一部
コード番号	2922	ＵＲＬ	http://www.natori.co.jp/
代　表　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 名取　三郎	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役業務管理本部長	(氏名) 小林　眞	ＴＥＬ　(03) 5390-8111

（金額は百万円未満を切り捨てて表示しております）

１．20年 3月期第３四半期の連結業績（平成19年 4月 1日～平成19年12月31日）

(1) 連結経営成績　　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
２０年３月期第３四半期	24,603	(△ 2.0)	1,414	(△16.4)	1,429	(△16.5)	811	(△25.0)
１９年３月期第３四半期	25,092	(3.1)	1,692	(43.8)	1,711	(39.5)	1,081	(56.2)
１　９　年　３　月　期	32,448		1,256		1,271		739	

	１株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
２０年３月期第３四半期	55	03	―	
１９年３月期第３四半期	76	10	69	67
１　９　年　３　月　期	51	88	47	62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
２０年３月期第３四半期	25,786	14,672	56.9	975	35
１９年３月期第３四半期	25,754	14,054	54.1	976	32
１　９　年　３　月　期	24,787	13,884	56.0	946	14

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
２０年３月期第３四半期	△ 452	△ 825	33	454
１９年３月期第３四半期	2,231	△ 97	△ 1,945	956
１　９　年　３　月　期	3,303	△ 163	△ 2,209	1,698

２．配当の状況

	１株当たり配当金
（基準日）	第３四半期末
	円　銭
２０年３月期第３四半期	―
１９年３月期第３四半期	―

３．20年 3月期の連結業績予想（平成19年 4月 1日～平成20年 3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通　　期	32,200	(△ 0.8)	990	(△21.2)	1,000	(△21.3)	660	(△10.7)	43	87

４．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）	**：**	**無**
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無	**：**	**有**
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無	**：**	**有**

〔（注）詳細は、５ページ【定性的情報・財務諸表等】４．その他をご覧ください。〕

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、５ページ「３．連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期における国内経済は、企業収益の改善により設備投資が引き続き堅調に推移しているなど、景気全体は緩やかな回復基調であるものの、サブプライムローン問題に端を発した株価下落や賃金の伸び悩み、原油価格の高騰による石油製品の値上げ、小麦の高騰などが一般消費動向に影響を与え、景気の不透明感が増しております。

加工食品業界・小売業界としては、業種業態を越えた企業間の販売競争がより激化しております。

また、食品衛生管理に関する諸問題を受け、食品各社では、これまで以上に安全・安心への取り組みが要請されております。

このような状況のもと、なとりグループは、素材の風味を活かし、手軽に食べられ、楽しさを演出するおつまみをお届けするために、原料仕入から生産現場、店頭に商品が並ぶまでの品質管理に細心の注意を払って、お客様の要望にお応えしております。

前期（平成１９年３月期）より新しいマーケットの創造と開拓を確実に推進するため、珍味売場向け５製品群と珍味売場以外の４製品群の「２カテゴリー９ジャンル」にきめ細かく分類し、各ジャンルにおいて、積極的な製品開発、販売施策を推進しております。

当第３四半期の売上高を製品群別に分類しますと、珍味売場では、プレミアム製品の「一度は食べていただきたい」シリーズの拡販やボトルの容器に入れた製品ラインアップの充実により、いか製品が堅調に推移いたしましたが、揚げ物製品、いか以外の水産加工製品が苦戦し、さらに低粗利の一次加工品も含めた原料売りの圧縮を経営方針の一環として行っており、水産加工製品は減収となりました。畜肉加工製品、酪農加工製品については、「おいしいサラミ」「熟成チーズ鱈」などプレミアム製品が好調に推移し増収となりました。農産加工製品では、中国産地問題発生により豆製品の売上減少が響き減収となりました。

珍味外売場では、チルドならではのなめらかさ、クリーミーさを特徴とした「くちどけチーズたら」が好調に推移し、チルド製品は増収となりましたが、素材菓子製品は、中国問題による梅製品や栗製品の売上減少が響き減収、また、スナック菓子製品は、おつまみメーカーとして当社独自の素材や原料を使用した製品開発に取り組んでおりますが、新技術を用いた製法が必要であり、充分にマーケットで競争できる商品を市場に投入できず減収となりました。

なお、平成１９年２月より所有不動産を有効活用するために賃貸事業を開始しており、当第３四半期としましては、５０百万円の売上を計上しております。

以上の結果、当第３四半期の連結売上高は、２４６億３百万円（前年同期比２．０％減）となりました。

製品群別の売上高の状況は、下記の通りであります。

期別 / 科目		当四半期累計 平成20年3月期 第3四半期		前四半期累計 平成19年3月期 第3四半期		差引増減額・率	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
		千円	%	千円	%	千円	%
珍味売場	水産加工製品	13,171,281	53.6	13,619,909	54.3	△ 448,628	△ 3.3
	畜肉加工製品	3,600,209	14.6	3,506,990	14.0	93,218	2.7
	酪農加工製品	2,883,862	11.7	2,861,515	11.4	22,347	0.8
	農産加工製品	727,419	3.0	772,754	3.1	△ 45,334	△ 5.9
	その他製品	1,851,658	7.5	1,871,424	7.4	△ 19,765	△ 1.1
	計	22,234,430	90.4	22,632,593	90.2	△ 398,163	△ 1.8
珍味外売場	小物菓子製品	674,372	2.7	702,192	2.8	△ 27,819	△ 4.0
	素材菓子製品	1,221,035	5.0	1,527,237	6.1	△ 306,201	△ 20.0
	スナック菓子製品	38,584	0.1	71,817	0.3	△ 33,233	△ 46.3
	チルド製品	384,264	1.6	159,027	0.6	225,237	141.6
	計	2,318,256	9.4	2,460,274	9.8	△ 142,017	△ 5.8
珍味売場・珍味外売場・計		24,552,687	99.8	25,092,867	100.0	△ 540,180	△ 2.2
賃貸収入		50,791	0.2	－	－	50,791	－
合計		24,603,478	100.0	25,092,867	100.0	△ 489,389	△ 2.0

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

		当第３四半期 （平成19年4月1日から 平成19年12月31日まで）		前第３四半期 （平成18年4月1日から 平成18年12月31日まで）		差引増減額・率	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
連結	売上高	24,603	100.0	25,092	100.0	△ 489	△ 2.0
	売上総利益	8,269	33.6	8,352	33.3	△ 82	△ 1.0
	販管費	6,855	27.8	6,659	26.6	195	2.9
	営業利益	1,414	5.8	1,692	6.7	△ 277	△ 16.4
	経常利益	1,429	5.8	1,711	6.8	△ 282	△ 16.5
	第３四半期純利益	811	3.3	1,081	4.3	△ 270	△ 25.0

利益面では、３３．６％と売上総利益率が０．３ポイント上昇したものの、売上の減少に加え資材価格の上昇等により、売上総利益が８２億６９百万円（前年同期比１．０％減）となりました。

販売費及び一般管理費は、販売促進費の増加や子会社での販売店舗数拡大に伴うコストの増加等により６８億５５百万円（同２．９％増）となり、営業利益１４億１４百万円（同１６．４％減）、経常利益１４億２９百万円（同１６．５％減）、第３四半期純利益は８億１１百万円（同２５．０％減）と前年同期比減益となりました。

２．連結財務状態に関する定性的情報

当第３四半期の連結総資産は２５７億８６百万円（前年同期比３１百万円増）となりました。資産の部では、現金預金が減少及びたな卸資産の増加、所有不動産活用に伴う建物の増加が主な要因となります。

負債の部では新株予約権付社債の償還による減少及び未払法人税等の減少、純資産の部では新株予約権付社債の権利行使により資本金、資本剰余金がそれぞれ増加、利益剰余金も増加した結果、純資産合計は１４６億７２百万円となり、自己資本比率は前年同期比２．８ポイント増の５６.９％となりました。

当第３四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ１２億４３百万円減少し、４億５４百万円となりました。

当第３四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローはマイナス４億５２百万円（前年同期比２６億８３百万円減）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前第３四半期純利益１４億１７百万円、仕入債務９億８１百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額１２億７８百万円、たな卸資産の増加額８億３９百万円、法人税等の支払額７億５８百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローはマイナス８億２５百万円（前年同期比７億２７百万円減）となりました。当第３四半期には、連結子会社用工場の建設及び賃貸用住宅の建設等により有形固定資産の取得による支出が８億８１百万円となっております。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは３３百万円（前年同期比１９億７９百万円増）となりました。当第３四半期は、長期・短期借入金が６億３２百万円増加した一方で、自己株式の取得により４億２７百万円の支出、配当金の支払いとして１億７１百万円の支出となっております。

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	△ 452	△ 825	33	454
19年3月期第3四半期	2,231	△ 97	△ 1,945	956
前年同期比増減	△ 2,683	△ 727	1,979	△ 501
１９年３月期	3,303	△ 163	△ 2,209	1,698

３．連結業績予想に関する定性的情報

（％表示は対前期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
通期	32,200 (△0.8)	990 (△21.2)	1,000 (△21.3)	660 (△10.7)

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

当期の業績見通しにつきましては、以下の諸施策により当初計画通りの達成を目指してまいります。

販売面では、より原料や製法にこだわった付加価値の高い“プレミアムおつまみ”の充実に向け、食品総合ラボラトリーを中核にグループ総力を挙げて顧客志向に基づいた新製品開発に取り組んでまいります。特に珍味外売場のカテゴリーにおいて「チルド製品」は、今までの課題に充分な対策を講じ、「乾き珍味」に次ぐ当社の柱に育てるべく引き続き全社を挙げて取り組んでまいります。このほか「素材菓子」「小物菓子」「スナック菓子」についても積極的な商品戦略を展開してまいります。

利益面につきましても、生産設備の省人化による生産性の向上、安全・安心への取組み強化に重点を置いた設備投資及び生産ラインの合理化、長引く原料高や原油価格高騰への対応として、新原料開発、代替原料調達等によるグローバル展開や製品規格の見直し、市場動向に合わせた適正在庫の維持・管理や配送効率の向上及び一元管理によるコストコントロールの徹底、ローコストオペレーションによる販売費及び一般管理費のコストダウンに努め、一層の利益率改善を図ってまいります。なお、平成１９年１１月１６日公表の平成２０年３月期連結業績予想に変更はございません。

４．その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の処理は、法定実効税率をベースとした簡便な方法を採用しております。

また、その他影響額の僅少なものにつき、一部簡便な方法を採用しております。

(2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当事業年度より法人税法の改正に伴い、平成 19 年４月１日以降取得する有形固定資産については、改正法人税法に規定する減価償却費を計上しております。これに伴い、前年同四半期連結会計期間と同一の方法によった場合と比べ、売上総利益が 2,134 千円、営業利益が 2,378 千円、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び四半期純利益が 2,857 千円それぞれ減少しております。

また、当事業年度より、平成 19 年３月 31 日以前に取得した有形固定資産のうち償却可能額までの償却が終了しているものについては、残存簿価を５年間で均等償却しております。これに伴い、前年同四半期連結会計期間と同一の方法によった場合と比べ、売上総利益が 12,465 千円、営業利益が 13,506 千円、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び四半期純利益が 13,676 千円それぞれ減少しております。

５．連結財務諸表等

(1)（要約）四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第３四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第３四半期末)	増減		(参考)前期末 平成19年3月期末
	金額	金額	金額	増減率	金額
（資産の部）					
Ⅰ 流動資産					
１．現金及び預金	1,383,503	835,557	△ 547,945	△ 39.6	2,085,482
２．受取手形及び売掛金	6,682,188	6,671,870	△ 10,317	△ 0.2	5,407,739
３．たな卸資産	4,208,991	4,556,336	347,344	8.3	3,704,617
４．その他	524,770	369,758	△ 155,011	△ 29.5	540,910
流動資産合計	12,799,452	12,433,522	△ 365,930	△ 2.9	11,738,750
Ⅱ 固定資産					
１．有形固定資産	11,385,593	11,896,465	510,872	4.5	11,477,960
２．無形固定資産	124,814	130,232	5,417	4.3	135,316
３．投資その他の資産	1,444,891	1,326,123	△ 118,768	△ 8.2	1,435,080
固定資産合計	12,955,299	13,352,821	397,521	3.1	13,048,357
資産合計	25,754,752	25,786,343	31,591	0.1	24,787,108
（負債の部）					
Ⅰ 流動負債					
１．支払手形及び買掛金	4,474,973	4,583,853	108,879	2.4	3,717,029
２．短期借入金	2,143,000	2,277,799	134,799	6.3	1,689,000
３．一年以内に返済予定の長期借入金	128,868	234,668	105,800	82.1	198,645
４．一年以内に償還予定の新株予約権付社債	943,000	－	△ 943,000	－	641,000
５．未払法人税等	884,710	380,505	△ 504,205	△ 57.0	533,531
６．その他	1,348,384	1,707,965	359,581	26.7	2,210,566
流動負債合計	9,922,936	9,184,791	△ 738,144	△ 7.4	8,989,772
Ⅱ 固定負債					
１．長期借入金	850,831	1,055,663	204,832	24.1	973,987
２．その他	926,400	873,761	△ 52,639	△ 5.7	939,041
固定負債合計	1,777,231	1,929,424	152,192	8.6	1,913,028
負債合計	11,700,168	11,114,216	△ 585,951	△ 5.0	10,902,800
（純資産の部）					
Ⅰ 株主資本					
１．資本金	1,503,625	1,975,125	471,500	31.4	1,654,625
２．資本剰余金	1,819,438	2,290,938	471,500	25.9	1,970,438
３．利益剰余金	10,492,290	10,785,561	293,270	2.8	10,149,791
４．自己株式	△ 3,145	△ 431,899	△ 428,754	△13,630.8	△ 4,246
株主資本合計	13,812,209	14,619,725	807,516	5.8	13,770,608
Ⅱ 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	124,020	52,401	△ 71,619	△ 57.7	113,699
評価・換算差額等合計	124,020	52,401	△ 71,619	△ 57.7	113,699
Ⅲ 少数株主持分	118,354	－	△ 118,354	－	－
純資産合計	14,054,583	14,672,127	617,543	4.4	13,884,307
負債及び純資産合計	25,754,752	25,786,343	31,591	0.1	24,787,108

(2)（要約）四半期連結損益計算書

（単位：千円、％）

科目	前年同四半期(平成19年3月期第３四半期)	当四半期(平成20年3月期第３四半期)	増減		(参考)前期平成19年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
Ⅰ 売上高	25,092,867	24,603,478	△ 489,389	△ 2.0	32,448,980
Ⅱ 売上原価	16,740,611	16,333,486	△ 407,125	△ 2.4	22,054,646
売上総利益	8,352,256	8,269,992	△ 82,263	△ 1.0	10,394,333
Ⅲ 販売費及び一般管理費	6,659,611	6,855,268	195,656	2.9	9,138,234
営業利益	1,692,644	1,414,724	△ 277,920	△ 16.4	1,256,099
Ⅳ 営業外収益					
１．受取賃貸料	18,291	21,957	3,665	20.0	23,102
２．その他	42,221	48,266	6,044	14.3	50,996
営業外収益合計	60,513	70,223	9,710	16.0	74,098
Ⅴ 営業外費用					
１．支払利息	26,956	27,205	249	0.9	35,805
２．その他	14,298	28,573	14,274	62.1	22,774
営業外費用合計	41,254	55,779	14,524	35.2	58,579
経常利益	1,711,903	1,429,169	△ 282,733	△ 16.5	1,271,618
Ⅵ 特別利益					
１．固定資産売却益	9	―	△ 9	―	―
２．投資有価証券売却益	―	1,815	1,815	―	―
３．地域雇用奨励金	―	5,000	5,000	―	―
４．自主回収受取損害保険金	41,882	―	△ 41,882	―	41,882
５．関係会社残余財産分配金	309,424	―	△ 309,424	―	309,558
６．貸倒引当金戻入益	4,746	―	△ 4,746	―	3,537
特別利益合計	356,061	6,815	△ 349,246	△ 98.1	354,978
Ⅶ 特別損失					
１．固定資産除却損	310	11,535	11,225	3,618.0	5,203
２．固定資産売却損	―	7	7	―	49,393
３．投資有価証券売却損	―	―	―	―	27
４．投資有価証券評価損	―	7,011	7,011	―	―
５．厚生年金基金制度変更損失	―	―	―	―	204,946
６．たな卸資産整理損	89,559	―	△ 89,559	―	91,940
７．役員退職慰労引当金繰入額	―	―	―	―	6,900
８．退店損失	―	―	―	―	3,891
特別損失合計	89,869	18,555	△ 71,314	△ 79.4	362,301
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,978,095	1,417,428	△ 560,666	△ 28.3	1,264,294
税金費用	889,873	605,563	△ 284,310	△ 31.9	522,731
少数株主利益	6,313	―	△ 6,313	―	2,154
四半期（当期）純利益	1,081,908	811,865	△ 270,042	△ 25.0	739,408

(3)（要約）四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期（自　平成18年４月１日　至　平成18年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		
平成18年3月31日残高	1,478,125	1,793,935	9,560,149	△ 2,835	12,829,374	198,596	122,340	13,150,311
当四半期の変動額								
新株発行	25,500	25,500	－	－	51,000	－	－	51,000
剰余金の配当（注）	－	－	△ 71,033	－	△ 71,033	－	－	△ 71,033
剰余金の配当	－	－	△ 71,033	－	△ 71,033	－	－	△ 71,033
役員賞与（注）	－	－	△ 7,700	－	△ 7,700	－	－	△ 7,700
四半期純利益	－	－	1,081,908	－	1,081,908	－	－	1,081,908
自己株式の売却	－	2	－	15	18	－	－	18
自己株式の取得	－	－	－	△ 325	△ 325	－	－	△ 325
株主資本以外の項目の当四半期の変動額（純額）	－	－	－	－	－	△ 74,575	△ 3,986	△ 78,561
当四半期の変動額合計	25,500	25,502	932,141	△ 309	982,834	△ 74,575	△ 3,986	904,272
平成18年12月31日残高	1,503,625	1,819,438	10,492,290	△ 3,145	13,812,209	124,020	118,354	14,054,583

（注）平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

当四半期（自　平成19年４月１日　至　平成19年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
平成19年3月31日残高	1,654,625	1,970,438	10,149,791	△ 4,246	13,770,608	113,699	13,884,307
当四半期の変動額							
新株発行	320,500	320,500	－	－	641,000	－	641,000
剰余金の配当	－	－	△176,095	－	△176,095	－	△176,095
四半期純利益	－	－	811,865	－	811,865	－	811,865
自己株式の取得	－	－	－	△427,653	△427,653	－	△427,653
株主資本以外の項目の当四半期の変動額（純額）	－	－	－	－	－	△ 61,298	△ 61,298
当四半期の変動額合計	320,500	320,500	635,770	△427,653	849,117	△61,298	787,819
平成19年12月31日残高	1,975,125	2,290,938	10,785,561	△431,899	14,619,725	52,401	14,672,127

(参考)前期（平成19年3月期）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		
平成18年3月31日残高	1,478,125	1,793,935	9,560,149	△ 2,835	12,829,374	198,596	122,340	13,150,311
連結会計年度中の変動額								
新株の発行	176,500	176,500	－	－	353,000	－	－	353,000
剰余金の配当（注）	－	－	△ 71,033	－	△ 71,033	－	－	△ 71,033
剰余金の配当	－	－	△ 71,033	－	△ 71,033	－	－	△ 71,033
役員賞与（注）	－	－	△ 7,700	－	△ 7,700	－	－	△ 7,700
当期純利益	－	－	739,408	－	739,408	－	－	739,408
自己株式の売却	－	2	－	15	18	－	－	18
自己株式の取得	－	－	－	△ 1,426	△ 1,426	－	－	△ 1,426
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	－	－	－	－	－	△ 84,896	△122,340	△207,237
連結会計年度中の変動額合計	176,500	176,502	589,641	△ 1,410	941,233	△ 84,896	△122,340	733,996
平成19年3月31日残高	1,654,625	1,970,438	10,149,791	△ 4,246	13,770,608	113,699	－	13,884,307

（注）平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4)（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

区　分	前年同四半期 （平成19年3月期 第３四半期）	当四半期 （平成20年3月期 第３四半期）	（参考）前期 平成19年3月期
	金　額	金　額	金　額
Ⅰ．営業活動によるキャッシュ・フロー			
１．税金等調整前四半期(当期)純利益	1,978,095	1,417,428	1,264,294
２．減価償却費	386,390	401,983	525,140
３．受取利息及び受取配当金	△ 9,769	△ 12,346	△ 10,236
４．支払利息	26,956	27,205	35,805
５．関係会社残余財産分配金	△ 309,424	－	△ 309,558
６．自主回収受取損害保険金	△ 41,882	－	△ 41,882
７．売上債権の増加額	△ 1,984,878	△ 1,278,575	△ 706,548
８．たな卸資産の増減額	545,418	△ 839,375	1,062,204
９．仕入債務の増加額	1,303,388	981,729	752,484
10．未払消費税等の増減額	146,065	△ 88,437	104,040
11．その他	△ 15,763	△ 308,714	491,938
小　計	2,024,597	300,898	3,167,684
12．利息及び配当金の受取額	9,722	12,529	10,014
13．利息の支払額	△ 27,006	△ 23,455	△ 37,191
14．損害保険金の受取額	41,882	－	41,882
15．法人税等の支払額	△ 36,424	△ 758,301	△ 97,618
16．法人税等の還付額	218,230	15,953	218,230
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,231,002	△ 452,376	3,303,001
Ⅱ．投資活動によるキャッシュ・フロー			
１．有形固定資産の取得による支出	△ 243,804	△ 881,886	△ 477,517
２．投資有価証券の取得による支出	△ 22,502	△ 21,976	△ 28,424
３．関係会社株式の取得による支出	△ 19,300	－	△ 74,250
４．関係会社残余財産分配による収入	309,424	－	309,558
５．その他	△ 121,680	78,576	106,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 97,863	△ 825,287	△ 163,773
Ⅲ．財務活動によるキャッシュ・フロー			
１．短期借入金の増減額	△ 1,653,000	515,000	△ 2,107,000
２．長期借入金の増減額	△ 152,024	117,699	40,909
３．自己株式の取得による支出	△ 325	△ 427,653	△ 1,426
４．親会社による配当金の支払額	△ 140,092	△ 171,117	△ 142,034
５．その他	△ 374	－	△ 374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,945,816	33,928	△ 2,209,926
Ⅳ．現金及び現金同等物の増減額	187,322	△ 1,243,735	929,301
Ⅴ．現金及び現金同等物期首残高	769,174	1,698,476	769,174
Ⅵ．現金及び現金同等物四半期末(期末)残高	956,496	454,741	1,698,476

(5) 四半期財務情報作成のための基本となる事項

当社は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続を採用しております。

（法人税等の計上基準）

法定実効税率を基礎として実際の税負担額を試算のうえ、調整後法人税として計上しております。

(6)セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社及び連結子会社は、主に食品加工品事業を主な事業内容としており、当第３四半期における当該事業区分の連結売上高及び営業利益は、いずれも全セグメントに占める割合が 90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第３四半期において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。